

目標達成計画

作成日: 平成 29年 12月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	約半数の家族が島外に住んでいる事も考慮し、家族が意見や要望をホーム側へ伝えやすくする仕組み作りをする。	毎月の家族通信、電話による報告、お知らせ等何か生じれば常に家族に連絡を取り、又、ご家族からの要望、意見等遠慮気兼ねなく伝えて貰える環境作りに努める。	利用者家族の施設訪問、電話での会話、家族通信での報告等、家族と、施設が一体となり安心して入居できる仕組み作りに努める。	1ヶ月
2	36	トイレのドアを開放していることは、見守る側からの視点によるものであり、使用時にはドアを閉め、利用者のプライバシーに配慮する。	入居者の一人ひとりの尊厳と、プライバシーを守り、トイレ使用時には、人目を気兼ねなく利用できるよう配慮する。	現在入居されている、利用者の介護度、介護状況からして大半の方が全介助、見守り介助が必要である。ドアの開閉、カーテンの開閉に介護員が配慮し安心、気兼ねなくトイレが出来るようプライバシーの確保に努める。	10ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月